

町の人口(11月末)

- ・総人口 15,980人
- 男 7,675人
- 女 8,305人
- ・世帯数 3,966世帯
- ・転入28人・転出28人
- ・出生18人・死亡 7人

町の花・ツツジ



干しがき作りで 社会参加!!

村木老人クラブ(山下藤雄会長62人)では、会員の庭先などに穂った渋がきを集めて、干しがき作りを始めました。国が本年度から始めた「老人クラブ社会参加モデル推進事業」の一環で、本町では、同

クラブが中心となって生産活動をするものです。収穫した渋がき約700キロをおばあちゃんたちが手際よく皮をむき、シュロの葉などで結んで、大釜で湯通し。おじいちゃんたちが次々とつるしていきます。

山下会長は「干しがきは、受け継がれてきた正月の味覚。来年は子、孫たちのためにも是非一緒に広げていきたい」。五島や平戸からも注文があつているそうで、収益は活動費に充てるとのこと。「タカナ漬け、ヒラタケ作りにも挑戦したい」と会員の顔は意欲満々といったようすです。

波佐見

昭和61年12月号

「日本ふるさと塾」
萩原茂裕氏講演会

夢のある町づくり

を創るの



「心の角度を変えて見られる人に」と語る萩原茂裕氏

講演内容

町づくりは人づくり

「あなたです!!はさみを創るのは」をテーマに十一月二十三日、波佐見中学校体育館で、日本ふるさと塾を主宰する萩原茂裕氏講演会(町商工会・商工会青年部主催)が開かれました。新町発足三十周年を機会にもう一度波佐見を見つめ直し、町の活性化と夢のある町づくりを目指そうと企画されたものです。会場には、町内外から約三五〇人が出席。自称「種まき地蔵」という同氏のユニークで熱の入った講演に、終始熱心にメモを取る姿が見られました。

また、会場内には、N.T.T.、郵便局、写真クラブなどの展示コーナーも設けられ、参加した人たちの人気を集めていました。今月号では、講演の主な内容を紹介するとともに、これを機会にさらに「町づくり気運」が盛り上がりげばと特集してみました。

〈講演内容〉

私は、講演に来たのではありません。町づくりのお手伝いに来たのです。

全国各地をまわってみれば、素晴らしい町や村があり、そして素晴らしい人々と出会うことができます。その一つに、長野県野沢というところがあります。

何にもなかった過疎の村。「このままでは、子供たちがこの村に残らない」——そこで立ち上がったのが、村民総ぐるみによるスキー場建設。今では村営スキー場として年間二十億円の収入があり、

萩原氏のプロフィール

旭川市出身。旧制旭川中、慶大経済学部卒業。商社勤務、実践女子大講師を経て昭和43年日本コンサルタントグループに入社。経営コンサルタントとして相談に当たっていたが、間もなく商品開発だけでなく地域開発に着目。以来、全国のまちづくりプランナーとしてなくてはならない存在に。56年参与で退職後、「日本ふるさと塾」を主宰する。

家族は同郷の良子夫人(54)と息子ばかり四人。故大宅壮一塾の優等生を自負する。自宅は埼玉県浦和市領家4の1。54歳。

上下水道等完備し、さらに、スキー博物館、スキー学校まで造ったんです。全村民がスキーを習い、この村から三十人のオリンピックの選手が誕生するほど——「おらが村はスキーの総本山」と全住民が自信を持って村づくりに参加してゐるんです。

村内を案内してくれた親切なおばあさん。スキー場売店の心にくいばかりのサービス精神。

私は、この村、この村の人々にほれ込んでしまいました。

このほか、泉観光PRの確を目標するという富崎県のバスガイド。町は商品として位置づけ、町長を先頭に「食生活豊かな町池田」をPRする、十勝ワインで有名な北海道池田町。

これらの町には、親切で心温い人々がいます。そして、

こうやって

町は伸びる!!

町づくりを成功させるためには、まず目的がしっかりしていること。各地でいろいろなイベントが開催されていますが、それは、あくまで目的に向かった手段であること。

目的と手段を明確にして、取り組むことが大事です。

そして、次のことが最も重要なポイントだと考えます。

一、町づくりは人づくりなり。

二、他人のために汗を流せる町(住民)は伸びる。

三、遠くばかりながめる町は伸びないこと。

あなたです!! はさ



このほど県優良特産品として推奨された
辻屋製菓(宿)「里の梅コーナー」



ハングライダーもやってきました

- 四、常に子・孫たちのためにと考えること。事業は短期間に成功するものではない。
- 五、若者たちが立ち上がる町は伸びる。
- 六、一つの産業だけにたよらない町は伸びること。
- 七、行政の力量を充分発揮させるリーダーが必要である。
- 八、情報選択能力がある町は伸びる。
- 九、観光とは、自分たちのもの(自信を持って自慢できるものを作る)。
- 十、素晴らしい町とは、しっかりとしたテーマ(目標)を持っていること。

町の歴史を 知ろう

町づくりを進める上で、忘れてならないのが町の歴史。この町は、伝統あるやまもとと農業の町。素晴らしい歴史的人物がいっぱいいます。忘れていませんか?もう一度、歴史を、そして今の波佐見を見つめ直してください。町おこしの素材は、いっぱいあるはずです。私たちが、親から歴史を教わったように、私たちがまた子供たちに、母なる大地、この波佐見を教え伝える必要があります。

一人一人が手を取り合って、この大地をしっかりと見つめ、そして、未来へ向かって一歩一歩階段をのぼっていくようではありませんか。

今回の講演会に先がけ、町商工会青年部などが中心となり、「あなたは、いまはさみをどう思いますか?」をテーマにアンケートを実施しました。対象者は、町内の小中高生から一般(青年・婦人・老人・各公共機関職員)と県外に住む本町出身者など約一千人。行政・窯業・農業・商業関係に対し、今必要と思われること、若者への要望、将来の夢、この町にふさわしいテーマは?などが盛り込まれ、現在、そのアンケート結果をまとめていくところです。同青年部では、この結果を参考に今後、各種団体と語り合いながら、町づくり気運をさらに盛り上げていくと意欲を燃やしているところです。

この町が好き だから明るい社会を

第三回明るい社会づくり推進運動意見発表大会が、十一月八日、農村環境改善センターで開催されました。
今回は、小学生から老人クラブの代表十五人が発表。集まった約二百人は、それぞれ

の発表に熱心に聴き入っていました。
なお、発表者は別表のとおりですが、内容については今後まとめて発行され、各世帯へ配布される予定です。
五十八年に発足した「明

第三回明社
意見発表大会

い社会づくり運動推進協議会」。これまで、明社広報の発行をはじめ、オアシス運動、各種奉仕活動の推進など、盛んに取り組まれているところ



— 第3回明社大会 —

明るい社会づくり意見発表者

(敬称略)

所 属	発表者名	発 表 内 容
南小6年	林 正幸	明るい町づくり
"	山口恵美子	きれいな町づくり
中央 "	原田 浩二	明るい社会をつくるために
"	神村 隆博	町を美しく
東小 "	堀田 綾子	笑顔ありますか波佐見町
"	松下 麻美	町をきれいにするために
波中3年	山本 浩司	みんなの心を一つに
"	橋本 育子	協力ってなあに
波高2年	寺崎 恭章	修学旅行に参加して
"	大比良美紀	思いやりは勇気をもって
青年団	楠本 成治	青年
"	西川みどり	みんなの協力
婦人会	福田 信子	手づくりの食生活改善
老人会	切間 勇一	老人の生きがい
"	野沢 スイ	ことばづかい



波中プラス部も花を添えました

優良「こども銀行」 に下波佐見郵便局

(南小)が受賞

本年度の貯蓄推進功績者と優良「こども銀行」の表彰式が十月十七日、県庁で行われ、優良「こども銀行」として本町の下波佐見こども郵便局(南小学校)が、大蔵大臣・日銀総裁連名表彰を受賞しました。

式には、南小六年林正幸君が出席、受賞者代表としてお礼のことばを述べました。



緑の少年団 最優秀に輝く!!

県花壇コンクール

六十一年度の県花壇コンクールの審査会が十一月二十七日行われ、本町緑の少年団・沢田敏行団長(二十二人)の花壇が初の最優秀賞(知事賞)に選ばれました。

緑の少年団の花壇は、農村環境改善センター前(約七十七平方メートル)に、サルビア、マリーゴールドなど約千五百株を配色よく植えられたもので、「成育・配色とも良くパツと

明るい雰囲気」と高く評価されたものです。

本町からは、このほか昨年知事賞を獲得した鬼木老人クラブが優秀賞に、努力賞に金屋、宿、長野、折敷瀬東、折敷瀬西の各老人クラブ花壇が選ばれました。

五十三年から始まった同コンクール。毎年本町の花壇が上位を占めており、今回で六年連続最優秀賞に輝いています。これを機会に、さらに花いっぱい町として運動の輪を広げていきたいものです。



伝統技守る

功労者

宮崎 貞子さん
中石 佐久馬さん

受賞

(伝統的工芸品産業振興協会は、工芸品の技術向上や後継者の指導育成などによって産地振興に大きく寄与してきた人を顕彰する、伝統的工芸品産業功労者褒賞の六十一年度受賞者をこのほど発表。陶磁器関係十五人のうち、本町から宮崎貞子さん(中尾)と中

第31回波佐見一周駅伝大会

1月25日

10時スタート

新春を飾る「波佐見一周駅伝大会」は、一月二十五日に行われます。スタートは午前十時。コースは例

年どおり七区間二十九・八キロです。

前年三十二チームと参加チームも年々多くなり沿道での声援も盛んになってきました。

次のことに注意し大会がスムーズに進むよう、みなさんのご協力をお願いします。

○車両でレースに出合った時は、一時除行し警察や係員の指示に従ってください。

○伴走は一切禁止します。

○これまでの大会でも車両が混雑し、ランナーや役員車などの通行のさまたげになっています。

体育指導委員

功労を受彰

田添 有さん(稗木場郷)



十一月十九・二十・二十一日の三日間、京都市で第二十七回全国体育指導委員研究会が行われ、本町の田添有さん(稗木場郷)が、体育指導

委員功労者として表彰されました。

田添さんは、昭和三十七年から今日まで、町体育指導委員として社会体育の実技指導とスポーツの振興に尽かされています。

中学校体育教師という多忙な毎日にもかかわらず特に、バレーボール関係に力を注がれており、婦人バレーボールクラブの結成や組織の運営に尽力されています。さらに全日本バレーボール協会長崎県支部の名誉審判員として来年一月十日に予定されている実業団バレーボール大会の計画実施についても、指導、協力をされています。

田添さんの今後のご活躍を期待します。

思いやる心
大切に



夏には、生垣づくりにも挑戦した緑の少年団花だんがパツと明るい雰囲気になりました



農業の振興で

各種表彰



昭和六十一年度町農業振興会が主催する麦作共励会（コンクール）などの入賞者が決まり、十一月に行われた農業感謝祭の会場などで表彰されました。

受賞者の方は次のとおりです。（敬称略）

麦作共励会

- ◎多収量の部
- 一位 谷村任司（田ノ頭）
一・七五ha（10a当り）三六・九kg

第一回家庭菜園コンクール

- 二位 岩永康人（甲長野）
二・〇ha（10a当り）三三・二kg
- 三位 原尾秀敏（村木）
一・〇ha（10a当り）三〇・二kg
- ◎多収穫の部
- 一位 田川 昭（金屋）
（10a当り）四六・六kg
- 二位 松下武司（協和）
（10a当り）四三・二kg
- 三位 鶴野 剛（稗木場）
（10a当り）四三・八kg



▲麦作多収穫の部 一位の田川昭さん（左）

◎昭和61年度 波佐見町青年農業者連絡協議会主催枝肉共励会

- | | | |
|-----|-----|------|
| 第1位 | 井石郷 | 野口正憲 |
| 第2位 | 村木郷 | 高村儀実 |
| 第3位 | 永尾郷 | 石橋儀六 |

◎昭和61年度 大村東彼地区農業振興協議会主催「土づくりコンクール」

- 最優秀賞（個人の部）折敷瀬郷 中島 勇（知事賞）

◎昭和61年度 長崎県地域農林業振興経営コンクール

- 組織活動の部 「村づくり」 川内生産組合（知事賞）

◎昭和61年度 全国構造政策推進会議主催

「優良地域農業集団・農用地利用改善団体コンクール」

- （全国構造政策推進会議奨励賞） 岳辺田生産組合

◎集団転作（管理の部）

- 最優秀 小樽生産組合

大豆作共励会

- 最優秀賞 野々川郷 浦野喜代子
- 優秀賞 田ノ頭郷 長岡松代
- 湯無田郷 山口みつ
- アイデア賞 田ノ頭郷 黒崎アサ子

歳時記

宝船

「ながきよのおのねぶりのみなめざめ、なみのりぶねのおとのよきかな」この歌は、上から読んで、下から読んで同じですね。こういうのを回文歌と言います。

江戸時代には、良い初夢を見るようにと、宝船の絵と、この歌を書いた紙を枕の下に置いて寝ました。

正月には宝船売りが、「お宝、お宝」と言いながら絵を売り歩きました。明治時代になってもこの風習があったそうです。

宝船には、米俵や財宝が乗っているだけのものもありますが、多くは、七福神が乗っていました。

七福神とは恵比寿、大黒天、弁財天、毘沙門天、布袋、福祿寿、寿老人をいいます。面白いのは、この願ぶれば、神さまと仏さまがまぎっていることです。

最近では宝船の絵を枕の下に置く風習はすたれましたが、正月の七福神もうでは盛んです。この時もつる

所が、神社と寺と両方まざっています。しかも、たとえば大黒天が神社に祭られていたり、寺にあつたりするので。町人の信仰のおおらかさなのでしょう。

それと、七福神のふるさとをいって、中国、日本とまちまちです。国際化のさきがけみたいなものですね。

ところで、一九八七年は国際連合で決議された「国際居住年」です。西暦二〇〇〇年にむけて、世界各国の居住環境の改善をすすめていこうというのが狙いです。日本は、開発途上国の居住問題の解決に協力すると同時に、日本の居住環境の向上にも力を入れなければなりません。



シートベルトを締めますか

それとも命を縮めますか

車に乗つたらシートベルト。これは車社会の常識です。

道路交通法では、自動車を運転するときは、高速道路だけでなく一般道路でもシートベルトを着用しなければならぬ、とされています。また、ドライバーや助手席同乗者がシートベルトを着用しないで車を運転すると、ドライバーに対して行政処分点数一点が付加されることになっていきます。

しかし、車を利用する人の中には、いまだにこうしたきまりやシートベルトの機能や目的について理解していない人が少なくありません。

シートベルトがいかに大切なものか——ここでもう一度考えてみることにしましょう。

正しく着用してますか シートベルト



ベルトは必ず「カチッ」と音がするまで差し込む

ベルトは首にかかからないように肩の位置に

シートは倒さず、深く腰を力けて、腰ベルトは必ず腰骨の位置で締める

ベルトはよじれないように

時速六十キロの激突は四階からのダイビングと同じ

衝突事故を起こした車は、いったいどのくらいの衝撃を受けるのでしょうか。

仮に四階建ての建物の屋上に立ってみたとき、高さは約十四メートル。そこからは約十四メートル、命が助かると感じる人はそう多くないことでしょう。

時速六十キロで走る車が固定された壁に垂直に激突したときの衝撃は、この四階建ての屋上から車ごと真逆さまに落ちたときの衝撃と同じです。

自分は安全運転に心がけているから大丈夫と思っても、反対車線の車がいきなり飛び出してくることもあります。

着用を誤れば かえって危険

シートベルトが窮屈だからといって、ベルトをクリップなどで緩めて着用している人を見かけます。しかし、これではいざというときに、シートベルトの効力は百パーセント発揮されません。

ゆるな

運転開始後の三十分

ちょっと近くまで買物に行くだけだから、子供を幼稚園に送るだけだから……といった、子供を助手席に立たせたり、シートベルトを締めないで運転しているお母さんをよく見かけます。

つまり時速六十キロで車を走らせるといことは、四階建ての屋上のふちに腰をおろしている状態と同じである、と考えられなくもありません。車の運転は常に危険と隣合わせ——「命綱」としてのシートベルトが、いかに大切なものであるかが分かります。

また、安全性が高いといわれる三点式ベルトも、着用方法を誤ると、首に巻きついたりしてかえって危険です。万が一の事故から身を守るためにも、シートベルトは常に正しく着用してください。

また、子供には後部座席の二点式ベルトを着用させるか、子供用の補助シートを使用したいものです。

の運転時間を調べた調査(警察庁)によると、出発して三十分以内の事故が、全体の六〇%近くを占めています。そこまですぐ、ちょっとした時間だから……といった心のスキが、大きな事故を呼んでいるといえるかもしれません。いつ、いかなるときでもシートベルトを——車に乗るときにの習慣にしてしまいたいものです。

シリーズ

まち
づくり

その9

今、波佐見を
考える

このコーナーでは「まちづくり・今波佐見を考える」と題して、皆様からのご意見を登載し、みなさんとともに郷土・波佐見を考えたいと思います。

近寄れば近くに寄るほど

魅力的……………

折敷瀬郷 前川 正義 (27歳 会社員)



私は人情味あふれる、うつわの里、はさみに生まれ、育ちそしてはさが大好きな者のひとりです。波佐見、はさみ、ハサミ、どの文字を見ても親しみやすく、世に誇れるすばらしいまちだと思えます。波佐見は周囲を二市四町(佐世保市、川棚町、佐賀県の武雄市、嬉野町、山内町、有田町)に囲まれた典型的な盆地です。とかくトランジット(通過地)にすぎないとか、何かと不便なところとマイナス・イメージが先行しているようです。しかし周囲に囲ま

れているということはいわば、その地域を中心(核)だとも言えると思います。「近寄れば近くに寄るほど魅力的」、こんな波佐見であるために、私が第一に思うことは、私たちが町民が自らが楽しめるような街づくりが不可欠ではないでしょうか? 近年我がまちもスポーツ施設の面では、ほぼ完備され、さかんにいろんなスポーツでの交流が催されています。反面、文化面となるといろんなサークル活動や個人での活動の場は持たれていますが、それを発表し多くの町民への理解を求める自由な交流の場が十分ではないということ。私が三年ほど前に独居老人慰問をした折、そこのおばあさんに、すばらしい

書道や絵画の数々を觀せて頂きましたがそのおばあさんは町外で発表されているのとこのとでした。こういう一例からも他の町との情報交換や交流の源となるような場としても是非我が町に多目的文化コミュニティ施設は必要だと思えます。そういうなかでの活動が人が人をよび、ひいては、町外の人々もひっくるめた、人づくりにつながると思うし、一人一人が魅力的、その魅力を引き出し、引き出すことによつて、新たな文化創造がくり出せるにちがいないと考えます。

第二に、波佐見というまちをもっと町外にアピールすることが必要です。私もいろんな陶芸展等に参加させていた

だいていますがそこでよく聞かれることとして、「波佐見はどこにあるのですか。」「こんなにすばらしい食器があるということを知りなかつた。」等をよく聞きます。こういう人たちが二度も三度も波佐見に足を運んでいただけのようにするために、観光、広報開発に力を注いでいかなければなりません。そこで従来の陶器まつりや、農業まつり等の産業まつりを見直し、もっと大きくすることによって、波佐見の産業を一同に集大成した、イベントとしての「まつり」を創り上げ自分たちが自慢できるモノに仕立て上げていくことも必要なことではないでしょうか。今という時代に私たちは歴史的につちかわれてきた知恵をもって暮らしています。

先人達が残した様々な文化・伝統を継ぎ、又、私たちが新しい文化を創り上げていかなければならない時代でもあります。

一、まちづくり開発についてのいろんな分野からのプロジェクトチームの早期編成(組織化する)

一、今後のまちづくりへの資料となるような定期アンケート実施。

一、広報(P.R)の充実、拡大

一、人材育成

一、「まちづくり」への方向統一等

時代はうつり変わっても、私たちの子ども達の時代、「子どもたちの時代」に誇りをもって、私たちは何をすべきか、してあげられるかを真剣に考えなければならぬと思います。

波佐見が好きだから……………



「何でも経験しよう……今年から料理教室にも参加しています。楽しかですよ!!」と行動派の前川さん。

「まちづくりについて」



私たちの願いは、何といつても健康ですわ。
でも、ちよつとした油断でいろいろな病氣やけがに見舞われることがあります。
こんな時、お世話になるのが、お医者さん。

このコーナーでは、東彼医師会の皆さんから、病氣やけがに関する心がけや応急措置などについて、ご意見をお寄せいただき、みなさんと一緒に健康について考えてみたいと思います。



カゼ・インフルエンザの話

東彼医師会 山道 博 良 (折敷瀬郷)

(1) カゼは万病のもと

いろいろの病氣のはじめが「カゼ」のような症状ではじまります。冷たい外氣、寒い風に当たって起こる鼻カゼ、アレルギー性のカゼ、いろいろなウイルス、細菌が原因で起こる感冒、大流行を起こすインフルエンザ、高熱、けいれんを起こすウイルス性髄膜炎、手足口病、ヘルパンギーナ、などなど。

(2) カゼ、インフルエンザの特効薬はあるか。
残念ながら、特効薬、予防薬はありません。
カゼ、インフルエンザを

防ぐ方法
(イ) 予防接種を必ず受けましょう。
自分自身の免疫力を高めるために、そして共同

(ロ) ウガイの励行
肉、魚、豆腐、てんぷら、野菜、果物など、蛋白質、脂肪、糖質、ミネラルのバランスのとれた食

(ハ) 肉、魚、豆腐、てんぷら、野菜、果物など、蛋白質、脂肪、糖質、ミネラルのバランスのとれた食

(ニ) 部屋の換気をこまめに行い、暖房をつけた部屋は、加湿しましょう。

(ホ) 過労、睡眠不足が重ならないようにしましょう。

(ヘ) 汗が出た時には、よく拭きとりましょう。

(4) カゼ、インフルエンザにかかった時は、
(イ) 熱ばかりを気にせずに、
あおい顔色、うるんだ眼、

寒氣、だるさ、などに気がつけましょう。特に老年寄りには熱が僅かでも肺炎を起こしていることがあります。

(ロ) お風呂は、カゼが充分治ってから入ること。

(イ) カゼにかかった人はマスクをかけて、他人にうつさないようにしましょう。

(ニ) 安静が第一の薬です。電気コタツ、電気敷布、電気毛布を使う時、温度調節に気をつけ最低に近い方にしてください。

(ホ) 高齢者の方は、カゼがひどくなり易く、カゼにかかるたびに、老化がすすみます。

(6) 初期医療と家庭医療
病氣をかりはじめに治すために、「かかりつけ」のお医者さんをきめておくことが大切です。

健康シリーズ

目標 10,000歩

あなたは一日何歩位歩いていますか？

波佐見町食生活推進員の皆さんを対象に調査しました。その一部を紹介します。

- 最高 一〇、二〇〇歩
- 最低 一、五〇〇歩
- 平均 六、一四七歩

《年代別平均歩数》

- 三十歳台↓五、四五〇歩
- 四十歳台↓五、二二八歩
- 五十歳台↓五、二二五歩
- 六十歳台↓七、三二三歩
- 《三、〇〇〇歩以下の主な作業》
車運転、陶器関係仕事(陶)

- ① 背筋は伸びていますか。
- ② ヒザは伸びていますか。
- ③ 自分に合った速度で歩いていますか。
- ④ 体が前後左右にゆれていませんか。
- ⑤ 靴は足に合っていますか。



あなたも健康づくりにアタック!!



▲故橋本実さんの胸像

◀故橋本実さんの胸像除幕

町商工会の設立者で元県議の故橋本実さんを顕彰する胸像が町商工会館前に完成。十一月二日、関係者ら約三百五十人が出席して除幕式が行われました。橋本さんは、戦前島根県の高校、日本体育専門学校（現日体大）などの教職を経て、戦後、陶磁器業界の育成に努め、三十二年に町商工会を設立して二十数年間、会長として業界を指導しました。

県商工会連合会長、全国商工会連合副会長などを歴任。四十二年に県議、五期連続して当選を果たしましたが、五十八年十二月任期半ばで逝去されました。胸像は、会館入り口に建立され、ブロンズ製で高さ一・一メートル、題字は高田知事の自筆。

式では、中尾千歳商工会長と橋本さんの長男・鉄哉さんが除幕しました。



▲ギター奏者山口修さんは、1月3日勤労者体育センターで行われる「町成人式」の折に、特別出演、素晴らしいギター演奏で花を添えることになっています。

▶楽しい音楽の集い

ピアノとギターとおしゃべりコンサート

ピアノとギターとおしゃべりコンサート（町文化愛好会・町音楽愛好会主催）が十一月二十八日、勤労者体育センターで開かれました。

集まった子供からお年寄り約八百人は、ピアノ、中村八太さん（作曲家）、ギター・山口修さん（ギターリスト・本県出身）の名演奏にうっとり。

梶原北天さんのユーモアたっぷりな進行で、会場は終始和やかなムードに包まれていました。なお、主催した町文化愛好会（浜田寿会長）・町音楽愛好会（野中武彦会長）及び後援の町ライオンズクラブ（小佐々富夫会長）は、益金の一部を次のとおり寄付されました。

- ◇町児童文化基金へ二十万円
- ◇町青年団、町婦人会、町音楽愛好会の活動費としてそれぞれ三万円

◀勤労婦人の生活講座(12/3) 勤労福祉会館

工藤鏡子・県婦人少年室長の「婦人のパートタイム就労について」や渡辺満・町社会教育指導員の「小・中高生をもつ母親の役割」の講演に、約60人の出席者は熱心に聴き入っていました。

みなさんのところで、珍しい話題や行事、スポーツなどがありましたら、役場企画係までお知らせください。

☎85-2111番
内線29番



みんなのひろば



—好試合が展開された少年剣道大会—

◀波佐見剣士活躍

第九回波佐見町近接市町親善少年剣道大会が11月9日勤労者体育センターで開かれ団体戦、個人戦と激しいつばぜり合いが展開されました。

今大会には、町内をはじめ、川棚、東被杵、佐世保市、有田、嬉野などの小中高生、48チーム(約300人)が参加。

試合は、団体戦から始まり、小学高学年の部で波佐見剣心館A、中学生の部で波佐見弘道館Aが見事優勝を飾るなど、本町勢の活躍が目立ちました。

試合の主な結果は次のとおりです。

◀団体戦▶

小学高学年の部

優勝—剣心館A、準優勝—南少剣(本町)、三位—嬉野少剣

小学低学年の部

優勝—嬉野少剣、準優勝—川棚少剣、三位—三川内少剣

中学生の部

優勝—弘道館A、準優勝—被杵少剣、三位—弘道館B

◀個人戦(本町関係のみ)▶

小学高学年

優勝—田島泰介(剣心館A)

中学男子

準優勝—都築智則(弘道館)

中学女子

三位—滝本裕美(弘道館)



▶六分団初V飾る

町消防団ソフトボール大会

第十回町消防団ソフトボール大会が、十一月九日波佐見中学校グラウンドで行われました。A・B両パートに分かれそれぞれ四チームが対戦。団服姿の選手たちは、終始和やかな雰囲気の中で、珍プレー好プレーを展開しました。

決勝は、六分団(永尾・三股)と一分団(宿・田頭・金屋)の対戦となり、六分団が4対8とリードされた四回、集中打をあびせて5点追加し見事逆転9対8で初優勝を飾りました。

結果は次のとおりです。

優勝 六分団

準優勝 一分団

三位 七分団



◀このガミが初Vへの足がかり!!
(決勝戦6分団の攻撃)



▲マラソンのシーズン到来!!
11月9日、中尾郷と井石郷では郷内一周駅伝大会が行われ、子供から大人まで、さわやかな汗を流しました。(写真は井石大会の様)

11/30消防訓練(下農協)
スノーケル車も出動



らせ

役場企画係まで
☎85-2111番

老人保健事業の一環として、健康教育用トレーニング機具を勤労者体育センターに設置しました。健康づくり、体力



老人保健事業で設置されたコンビネーショントレーナー

健康づくりに
ご利用ください!!

体育センターに
トレーニング機具
を設置

- ツイストマシン 一台
 - サイクルトレーニング機械 二台
 - スタイリー 一台
 - エアロバイク 一台
- つくりにご利用ください。ただし、体育センター使用料(一〇〇〇円)が必要です。なお、設置した機具は次のとおりです。
- コンビネーショントレーナー 一台

原爆被爆者二世の無料健康診断

原爆被爆者二世を対象に健康診断が行われます。希望される方は、十二月二十七日までに役場保健衛生課にお申し込みください。

対象者は次のとおりです。○両親またはそのどちらかが原爆被爆者であること。

○昭和二十一年六月四日以降に出生した者であること。

なお、くわしくは役場保健

◆調査事項 経営組織・給与額・原材料使用額・製造品の出荷額などです。調査員が各事業所に伺いますので、みなさんのご協力をお願いします。

◆調査基準日 六十一年十二月三十一日現在

◆調査の対象 陶磁器・食料品・繊維などの製造業を営む事業所

年末・年始のゴミ・し尿業務

年末・年始のごみ収集及びし尿取りをしない期間は、次のとおりです。

- 燃えるごみ 十二月三十一日から一月四日まで
- 燃えないごみ 十二月二十七日から一月四日まで
- し尿取り 十二月二十八日から一月四日まで

年末の大掃除等のごみは出来るだけ早めに、年始のごみは必ず五日以降の予定日に出して、集積場所に置きっぱなしにならないようお願いいたします。

第18回全国実業団バレーボール 選抜男女リーグ

バレーボール 波佐見大会

○波佐見町新町30周年記念大会

日時 昭和62年1月10日(日)
13時30分より

会場 波佐見勤労者体育センター

組合せ 第一試合(女子)

NTT関西神戸一久光製薬

第二試合(男子)

帝 一人NTT東海



○入場整理券

500円

- 当日は前売入場整理券を優先しますので、満員の場合は当日券での入場をおことわりすることがあります。
- 入場整理券は波佐見町公民館、役場、陶芸の館、農村環境改善センターで発売します。
- 問い合わせ先 波佐見町公民館 (0956-85-2034)

主催 勸日本バレーボール協会 共催 波佐見町
日本実業団バレーボール連盟 後援 勸長崎県体育協会
主管 長崎県バレーボール協会 長崎県教育委員会

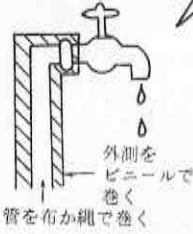
衛生課におたずねください。

工業統計調査
にご協力を



この工業統計調査は、国の指定統計調査として、通商産業省が毎年実施しているものです。

「カン割れ」に「注意」

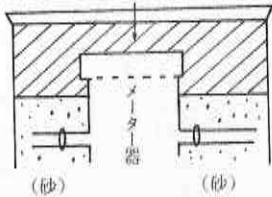


今年も寒波のしゅう来が予想されます。お宅の水道管の保温工事は済みですか。まだ済んでいない家庭では早急に対策を講じましょう。一度保温工事が行われた家庭でも保温材の破損などが見受けられますので再点検をお願いします。水道管がむき出しになつ

水道管の保護を

たり、北風にさらされる所は必ず保護しましょう。保護の方法としては図Iのように、またメーター器の場合は図IIのようにすきま風や雨水が入らないように密閉してください。もしカン割れした場合は、別表のそれぞれの部落の担当店へご連絡ください。

布で詰めて上にビニールを覆う



寒割れ修理担当工事店

項目	(正)	TEL	(副)	TEL
中尾郷	㈱本岡商店	85-2007	㈱百武建設	85-2242
三股郷	㈱百武建設	85-2242	㈱本岡商店	85-2007
永尾郷	㈱百武建設	"	㈱本岡商店	"
小樽郷	㈱百武建設	"	㈱本岡商店	"
野々川郷	上山建設	85-3697	㈱波佐見電設	85-2329
湯無田郷	㈱百武建設	85-2242	㈱波佐見電設	"
井石郷	㈱本岡商店	85-2007	波佐見建材店	85-2135
鬼木郷	㈱波佐見電設	85-2329	㈱百武建設	85-2242
金屋郷	㈱小佐々建設	85-2506	㈱松田建材店	85-3312
折敷瀬郷	波佐見建材店	85-2135	㈱小佐々建設	85-2506
宿郷	㈱松田建材店	85-3312	㈱小佐々建設	"
村木郷	㈱波佐見電設	85-2329	㈱小佐々建設	"
皿山郷	㈱小佐々建設	85-2506	上山建設	85-3697
稗木場郷	㈱波佐見電設	85-2329	㈱小佐々建設	85-2506
田頭郷	㈱小佐々建設	85-2506	波佐見建材店	85-2135
川内郷	㈱小佐々建設	"	上山建設	85-3697
岳辺田郷	銀杏屋	85-2025	㈱堀池電器	85-3236
甲長野郷	中尾建設	85-5300	㈱堀池電器	"
乙長野郷	中尾建設	"	銀杏屋	85-2025
協和郷	㈱堀池電器	85-3236	銀杏屋	"
志折郷	㈱堀池電器	"	中尾建設	85-5300
平野郷	銀杏屋	85-2025	中尾建設	"

お知

※掲載ご希望の方は
ご連絡ください



歳末たすけあい運動
(12月1日~31日)

「国の進学ローン」

取扱い中

来春、高校・大学などへ進学される方々のために、進学資金の融資をしています。
◇融資金額 一人五十万円まで
◇取扱期間 六十二年四月末日まで

◇利率

年六・四パーセント
(変動することもあります)

進学予定の子供をお持ちの皆さん、手続きは簡単です。お気軽にご相談ください。

詳しくは、国民金融公庫佐世保支店(☎二二一九一五五番)へおたずねください。

電話工事

担任者試験

日本データ通信協会では、次により六十一年度第二回電話工事担任者国家試験を行います。

◇受験申込みは 十二月二十四日まで

◇試験日

六十二年三月上旬、四月上旬までの間

◇試験地 熊本市

◇試験種別 アナログ一種・二種・三種、デジタル一種・二種

◇申請書の提出先

熊本市桜町二一十七 第二

甲斐田ビル 日本データ通信協会九州支部(☎〇九六一三五六一六一九)なお、受験講習会(アナログ二種、三種)が、二月上旬佐世保技能開発センターで行われる予定です。詳しくは、当センター(☎五八一三一八番)へおたずねください。

おわび

先月号のお知らせ「あなたも緑のオーナーに」のコーナーで……「一口五千元」は「一口五十万円」の誤りでした。訂正し深くおわび申し上げます。

来月の納金

- 国民年金保険料
- 国民健康保険料
- 水道使用料
- 町民税

町職員人事異動

()は旧町職員の人事異動が、11月10日付で発令されました。今回は、課長、係長など7人の異動となっています。

▶総務課長/田添強(農林課長)・農林課長/古賀保明(水道課長)・水道課長/小佐々康雄(総務課財政係長)・総務課財政係長/岩永司(住民福祉課福祉係長)・福祉係長/太田正憲(給食センター主任)・給食センター主任/坂本健吾(建設課管理係主査)・建設課管理係主査/松沢敏行(水道課業務係主査)

善意の窓

- 香典返しにかえて
- 宿 郷 内海 史郎様
- 御夫人故内海千栄子様
- 湯無田郷 本岡 幹男様
- 御主人故前田定一様
- 湯無田郷 前田カナエ様
- 御尊父故本岡恒二様
- 宿 郷 小坂 サナ様
- 御主人故小坂義雄様
- 宿 郷 小柳 讓様
- 御尊父故小柳熊治様
- 野々川郷 石本 俊幸様
- 御尊父故石本近市様

- 折敷瀬郷 江良 登様
- 御尊父故江良十郎様
- 乙長野郷 後藤 正一様
- 御尊父故後藤正己様
- お見舞返しにかえて
- 村木郷 谷村 春喜様
- 協和郷 古達 廣榮様
- 金一封
- 田頭郷 木村 澄子様
- 宿 郷 井島 力様

以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。

それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。

社会福祉法人
波佐見町社会福祉協議会

お誕生おめでとう

- | 子の名 | 親の名 | 住所 |
|-------|-----|------|
| 山口 賢 | 和紀 | 小樽郷 |
| 福島 貴子 | 幸夫 | 野々川郷 |
| 土橋奈瑠美 | 渡 | 折敷瀬郷 |
| 薄原 旭 | 和晴 | 折敷瀬郷 |

- | | | |
|-------|----|------|
| 成田 麻美 | 和博 | 折敷瀬郷 |
| 吉野 真季 | 真雄 | 宿郷 |
| 吉岡さとみ | 泰 | 宿郷 |
| 吉岡さとみ | 次郎 | 宿郷 |
| 山口 直樹 | 和昭 | 村木郷 |
| 滝本 愛 | 和昭 | 村木郷 |
| 三石 祐貴 | 孝 | 村木郷 |
| 西 香織 | 秀敏 | 村木郷 |
| 谷村 友弥 | 重行 | 村木郷 |
| 山村 優佳 | 豊昭 | 皿山郷 |
| 鶴池 祐太 | 広樹 | 皿山郷 |
| 田崎 勝吾 | 勝次 | 稗木場郷 |
| 池尻 舞 | 栄治 | 稗木場郷 |
| 福田 優勝 | 琢磨 | 協和郷 |
| 朝長賢史朗 | 博臣 | 協和郷 |

ご結婚おめでとう

- | | |
|-------|------|
| 久野 敏 | 佐世保市 |
| 今村智恵子 | 中尾郷 |
| 織田 完治 | 小樽郷 |
| 山田八由美 | 三重県 |
| 山田 聡 | 東彼杵町 |
| 平尾 珠美 | 金屋郷 |
| 田島 正孝 | 折敷瀬郷 |
| 中島由貴子 | 有田町 |
| 中嶋 秀樹 | 嬉野町 |
| 山下 聖子 | 折敷瀬郷 |
| 原 源吾 | 宿郷 |
| 高塚由利子 | 小樽郷 |
| 佐原 守哉 | 宿郷 |
| 柿本みどり | 野々川郷 |
| 恵美 雅司 | 佐世保市 |
| 三根八千代 | 宿郷 |
| マサナオ | 佐世保市 |
| 今村 清子 | 皿山郷 |

おくやみ申し上げます

- | | |
|--------|------|
| 松添 一博 | 岳辺田郷 |
| 佐々口えみ子 | 佐世保市 |
| 塚本 勇 | 川棚町 |
| 松添 照子 | 岳辺田郷 |
| 筒井 誠治 | 塩田町 |
| 松尾 末子 | 甲長野郷 |
| 広田 洋一 | 川棚町 |
| 前川 栄子 | 鬼木郷 |

川口 タヲ 野々川郷 87歳
寺崎 秀市 湯無田郷 75歳

〈児童扶養手当〉

児童扶養手当制度は、父と生計を同じくしていない児童の世帯に手当を支給し、児童の心身の健やかな成長に寄与することを目的としています。この手当は、次のいずれかに該当する児童(十八歳未満の者又は二十歳未満で一定の障害状態にあるもの)の母がその児童を監護するときに、又は母がいなく、若しくは母が監護しない場合において当該児童の母以外の者がその児童を養育するときに、その母、又はその養育者に対して支給されます。

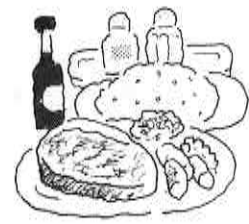
(1) 父母が婚姻を解消した児童
(2) 父が死亡した児童
(3) 父が重度の障害の状態にある児童

ある児童
(4) 父の生死が明らかでない児童
(5) 父が引き続き一年以上拘禁されている児童
(6) 母が婚姻によらないで懐胎した児童

ただし、これには公的年金給付を受けることができず、各種の支給制限がありますので詳細については役場福祉係へおたずねください。

昭和六十二年度の手当月額
は次のとおりになっています。

(1) 児童一人のとき、三万三千七百円
(2) 児童二人のとき、五千元加算
(3) 児童三人以上のとき、一人につき二千元加算



食品の年末一斉取締り月間

- | | | |
|-------|------|-----|
| 橋口 トへ | 湯無田郷 | 92歳 |
| 山口マサ子 | 井石郷 | 74歳 |
| 松尾嘉四郎 | 金屋郷 | 63歳 |